

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
おーじやん三木加佐		2025年1月30日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	3	これまでは、静かな環境がなかった。	新たに学習室を設けることで、静かな環境設定がこれまで以上に実現できている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	0	4	送迎などで、子どもに待機時間が発生するなどの難点があった。	施設管理者や新たな従業員を雇用を進める。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2		新たにスケジュールボードや視覚支援を導入し、視覚的にわかりやすいツールを増やしている。今後も、様々な配慮を行いながら児童にとってわかりやすく、過ごしやすい環境の実現に務める
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	2		様々な環境を用意することで、児童が過ごしやすい場所を主体的に選択できるよう、配慮を増やしています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	0	4	静かな環境が足りていないと感じることがあった。	新たに学習室を設けることで、静かな環境設定がこれまで以上に実現できている。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	2	職員同士のコミュニケーションが取りづらいう面があった。	新たな管理者を迎え、定例ミーティングや業務内容の見直しを行っている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	3		今回のアンケート結果を受けて、業務改善に取り組んでいる。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2		毎週水曜日に定例ミーティングで、積極的に意見を出し合い、業務改善に努めている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4		今後、第三者による外部評価を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0		
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0	4	工夫されているものもあるが、ないものもある	支援プログラムはこれから公表する予定だが、保護者やご家族にとってわかりやすいプログラムを作成したい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	0	4	分析されているものもあるが、されていないものもある	毎週水曜日に定例ミーティングを行う時間を設け、問題行動等のケースや個別支援計画等支援方針を取り扱うこととした。
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	0	4	情報共有されていないことが多かった、管理者だけで作成されることが多かった。	毎週水曜日に定例ミーティングを行う時間を設け、問題行動等のケースや個別支援計画等支援方針を取り扱うこととした。
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1	3	子どものアセスメントに関するミーティングが行われていなかった。回覧板にて共有されていた。	毎週水曜日に定例ミーティングを行う時間を設け、問題行動等のケースや個別支援計画等支援方針を取り扱うこととした。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	0	4		JSIやNCスケールなど、客観的に判断できる評価スケールを用いて、児童の特性や発達を判断できるようにしていく
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	1	3		毎週水曜日に定例ミーティングを行う時間を設け、問題行動等のケースや個別支援計画等支援方針を取り扱うこととした。

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	3		毎週のミーティングで日案を検討し、職員 の意見を集約しながら、児童が楽しく 取り組める活動を検討する。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	1	3		児童の発達や特性に応じた、また 児童が楽しく参加できる活動を検討 していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と 集団活動を適宜組み合わせで児童 発達支援計画（放課後等デイサー ビス計画）を作成し、支援が行わ れているか。	1	3		個別活動や集団活動においても、 児童の発達特性や状況に応じて臨 機応変に対応していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合 せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、 チームで連携して支援を行っている か。	0	4		朝礼・終礼を徹底し、その日の計 画と振り返りをしっかりと行う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打 合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等 を共有しているか。	0	3		朝礼・終礼を徹底し、その日の計 画と振り返りをしっかりと行う。
	22	日々の支援に関して記録をとるこ とを徹底し、支援の検証・改善に つなげているか。	3	1	児童の様子をグループウェアで共 有している。	今後も、グループウェアを使い、 終礼を徹底し、状況共有をしっかりと 行う。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童 発達支援計画（放課後等デイサー ビス計画）の見直しの必要性を判 断し、適切な見直しを行っている か。	2	2		毎週水曜日に定例ミーティングを 行う時間を設け、問題行動等のケ ースや個別支援計画等支援方針を 取り扱うこととした。
	24	<u>【放デイのみ】</u> 放課後等デイサー ビスガイドラインの「4つの基本 活動」を複数組み合わせて支援を 行っているか。	3	1		地域交流の機会の提供について、 どういった活動が可能か、検討す る。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	<u>【放デイのみ】</u> こどもが自己選択 できるような支援の工夫がされて いる等、自己決定をする力を育て るための支援を行っているか。	4	0		自己選択する機会は各所に設定し ている。引き続き、児童が選択表 出しやすい環境構築に務める。
	26	障害児相談支援事業所のサービス 担当者会議や関係機関との会議に 、そのこどもの状況をよく理解し た者が参画しているか。	2	2		今後は、児発管だけでなく職員も 積極的にサービス担当者会議に同 席するよう機会を設ける。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力 医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支 援を行う体制を整えているか。	3	1		ケース会議等を通じて、各種機 関と連携できる体制を検討する。
	28	地域の児童発達支援センターとの 連携を図り、必要に応じてスー パバイズや助言等を受ける機会を 設けているか。	3	1		必要に応じて、連携する機会を 検討する。また、研修会等の案内 をいただいた際は積極的に参加し たい。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園 等、または放課後児童クラブや児 童館との交流や、地域の中で他の こどもと活動する機会があるか。	0	4		どのように交流を図るか、事業 所内で検討を行う。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と 伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っている か。	4	0		送迎の際に一日の様子をきめ細 やかに伝えるよう心がけている。 今後は、面談を行うなど今まで 以上に共通理解をはかっていき たい。
	31	家族の対応力の向上を図る観点 から、家族に対して家族支援プロ グラム(ペアレント・トレーニング 等)や家族等の参加できる研修の 機会や情報提供等を行っている か。	0	4		家族支援の重要性は認識してい るが、ベアトレは実施できてい ない。今後は職員のスキルアップ を含めて取り組みを検討してい きたい。
	32	<u>【児発事業所・児発センターのみ】</u> 併行利用や移行に向けた支援を行 うなど、インクルージョン推進の 観点から支援を行っているか。ま た、その際、保育所や認定こども 園、幼稚園、特別支援学校(幼稚 部)等との間で、支援内容等の情 報共有と相互理解を図っている か。				
	33	<u>【児発事業所・児発センターのみ】</u> 就学時の移行の際には、小学校 や特別支援学校(小学部)との間 で、支援内容等の情報共有と相互 理解を図っているか。				
	34	<u>【児発センターのみ】</u> 地域の他の 児童発達支援センターや障害児通 所支援事業所等と連携を図り、地 域全体の質の向上に資する取組 を行っているか。				
	35	<u>【児発センターのみ】</u> 質の向上 を図るため、積極的に専門家や専 門機関等から助言を受けたり、職 員を外務研修に参加させている か。				
	36	<u>【児発センターのみ】</u> (自立支援) 協議会・こども部会や地域の子ど も・子育て会議等へ積極的に参加 しているか。				

	37	【放デイのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	2	保護者からの情報が多く、学校との状況共有が増えればいいと思う案件も多かった。	学校においても情報共有していただけるよう、働きかけを行っていきたい。
	38	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	4		法人内の児童発達支援施設とは十分な情報共有と連携を行っている。今後は、他施設との連携もできるよう働きかけを行っていききたい。
	39	【放デイのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	3		一部児童について、情報提供することがある。計画相談等を通じて、しっかりと情報共有していききたい。
	40	【放デイのみ】（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	4		管理者が変わったこともあるので、今後は積極的に参加していききたい。
保 護 者 へ の 説 明 等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	1		契約時に丁寧な説明を心がけている。今後も丁寧な説明を行っていく。
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	2		保護者の意向は送迎の折意向を聞くなどでできているが、児童に関しては意思を尊重できていない場面もある。今後は当事者の意向もしっかりと踏まえた計画作成を志向していく
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4		家族支援の重要性は認識しているが、ベアトレは実施できていない。今後は職員のスキルアップを含めて取り組みを検討していききたい。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0	4		活動内容は連絡帳で行っているが、活動概要や行事予定は実施できていない。今後は、積極的に行事予定等についても伝える工夫を行う。
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		どのような取り組みが可能か、事業所内で検討を行う。
非 常 時 等 の	51	【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	0	4		職員間でマニュアルの周知徹底を行い、保護者にも改めて周知する機会を作りたい。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	0	3		BCPの周知と、毎月1回の避難訓練の実施を徹底していく。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0		
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	2		定期的に安全管理を実施する日を設定し、事業所内のヒヤリハットを防ぐようルール設定を徹底する。

対 応	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	3		
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1		
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	2		現在、身体拘束を行う場面はないが、万が一の事態を想定しルール設定を行う。